

「森林整備に関する新たな国民支援の推進手法に関する研究会」の設置について

1 趣 旨

森林に対する国民の要請は、公益的機能を中心に多様化・高度化している。特に、最近では、地球温暖化防止の観点から、二酸化炭素の吸収・固定源としての森林の機能に対する関心が高まっている。

他方、林業の採算性が悪化する中で、手入れの不十分な森林や放置されている伐採跡地が増加しつつあり、様々な面で森林の機能の低下が懸念されている。

このため、健全で機能の高い森林の整備に対する国民の支援を推進するための政策手法について研究を行い、今後の政策展開に資する。

2 検討項目

- 既存の政策手法の整理と評価
- 環境税、法定外目的税等関連する動向の把握と整理
- 国民の支援を推進するための新たな政策手法の検討
- 新たな政策手法の具体化のための方策の検討

3 スケジュール

1 1 月中に検討を開始し、平成 13 年の夏を目途に中間取りまとめを行う。

「森林整備に関する新たな国民支援の推進手法に関する研究会」

スケジュール（案）

1 1月22日（本日）

- 第1回 ・ 研究会の趣旨、スケジュール等
- ・ 森林整備をめぐる情勢
- ・ フリートーキング

1 2月

- 第2回 ・ C O P 6 の結果
- ・ 森林整備に関する新たな国民支援の必要性

1 月

～2月

- 第3回 ・ 国民支援による森林整備の実践事例
- ～第4回 ・ 有識者からのヒアリング

3 月

- 第5回 ・ 森林整備に関する既存の政策手法
- ・ 森林の公益的機能に対する国民意識の変化と受益・負担関係
- ・ 環境税、法定外目的税等の関連する動向

4 月

- 第6回 ・ 委員からの意見陳述
（森林整備に関する新たな政策手法の提示）

5 月

- 第7回 ・ 新たな国民支援の推進手法と具体化のための方策
- ・ 中間報告骨子（案）の検討

6 月

- 第8回 ・ 中間報告（案）の検討

7 月

- 第9回 ・ 中間報告の取りまとめ